としても常然取締について頭政府 用するのみならず在智慧止處分を開放所の開税率改正に伴ひ日本側 と協力するため北京。天津、原南一も併用する決敵ある首明かに、 談を競表し日本人にして不正を働 布した。特に天政議領事館は常局 くものある場合、職手右規則を演

密輸を取締る

空陸協力 各所に敵を殱滅

異休む暇もなき海の荒陰

陸軍服制改正 副式服を併用

の概に沿ひ消費節約の見地から當削杯的服制改正を行つたが、國策 日付動令第三百九十二號をもつて【東京電話】映覧では五月三十二 被側式上表の今までの横取用章 変除き幹に標節を放送せずとも 新正文の標取を禁に叉腕章(兵 科を定色)山形線を右腕に附し

一その要領を左の通り示してゐる

|要衝闘徳を陥れた我が〇〇部隊は||十一號をもつて六月||日公布した

を整蔵して整陵を完全に占様、夏 める。こに決定院達第三十二號で西方に都選三十一日早朝選に腹談。又新舗式と荷舗式の混用単眼を傷

【○○三十一日前盟】索姨より前 | の戦闘において指家店を死守した | 通信配が三十一日プラハよりの報 一覧三千五百は頭鬚に抵抗を試みた。道として無へる所によれば、獅子 **両段の駆迫関係の製和は表面的で**

進を開始したOC部隊O先遣部隊

南方約十二キロ)を占領した、こ「商走した」 獨政府に再抗議 機越境事件に 性的飛時狀態を呈してゐると言言 チエツコ版内では依然響波展重を

茂を極めたが、その遊撃隊中 強制するため三月以來物に活

瓊飛に手を焼いた結果一方に - 有市軍政長皇紀左の如き斯似 低田したので、蔣介石目之が ないデレンマに陥つたので含 - 墨作七志にする集仏定戦隊が - ホールカエと珈騰せずるを存にに最適に陥口して質け摂取 - 於て遠撃戦後を挟力器職しな

ないチレンマに陥つたので含むいチャンマに陥ったので含む

將も手を燒く始末

更に對支武器輸出禁止を決定し | 越境事件に関し重ねてドイク政府 | 【ベルリン三十一日同盟】DNB| チェツコ國内は 依然戰時狀態 れる。その製道要冒入の通り フラハ市を形でる二十二五哩(かん) りの地壁ではこくも随手地帯の 間がある。同点に到る存近け設 低な時間施設が高され。自動並 は到る何テエッコを実験のため 停車を含せられてある時末た。 機能が無料率な直を出し相とい 、一、機能が無料率な直を出し相とい 利力を開発する場合である分十、高別 間度び後載が終知でなる分十、高別 間度び後載が終知でなる分十、高別 になっている。

島連の情報によれば、ドイツ政府 以後更に頻優したドイツ軍用機の

を發したが、三十一日ベルリン消(イツ外標省を訪問、廿七日の抗議

ツコ公使マストニー氏は廿一日ド 【ベルリン計一日同盟】 駐潤チエ | に抗議した

政権のドイッ人軍事時間引持命令 府は言言に関戦の立場から蔣介石

【ベルリン批】日同盟】ドイツ政

對支武器禁輸

のではないかと見られる 国する即行日もあったが、リッパ のヒトラー線状の壁明に基言今回 ントロップ外相は歩011月11十日

イギリュ的人の手を終て支がに輸一に脱続を追つて離縣に迫つた

現角徹底を決いた個々あり、早つ 雲も楽励して新文武器輸出取扱に

獣の関係もあり、文小貿易商の利

一般性を帯だてるるかを掘り

たと云白れる、從來は對支武器僧 【節雙 一目问题】一家 爛海線の 用し得ることとしその背陰衛形三人と云白れる、從來は對支武器僧 【節雙 一目问题】一家 爛海線の 用し得ることとしその背陰衛形三人 寧陵を占領

學園の意氣込

九時闘域したが、一日嗣長望で奏 多大の成果を収めて二十一日午後 め四十ヶ所で数古の湯河を帰調し 各公和立の中小學校を巡視し、さ **中四日から咸南北南近に出張し、** 新教育合主旨の徹底のため去る二 原本所能務局是は儒野園を暫用 一年、京島は没る必要かとも

一部に現がりである。 会職は、 のに無は環境の火の加くれ解 二部に現がつてある。 会事以下 を を事でして感起の歴史が作並に被 本で使って感起の歴史が作並に被 ので、各地で利限でしたが の知言視器の密想読を試みた

かし、过くまでは行かない。そ

『兵站基地』 なる語、半島統 半島の重要性温測に注目すべし壁の測示中、兵站基地としての 天地玄黄 海部出版所長寮議における總 色に贈る。あたかも、その胎敷の やきにみたされ、ある時は素な 限が、ある時は燃えるやうなかど 引返して来て、「熈の下をゅつくり の人の姿が見えなくなると、また一ませれる 総木の上を見上げるのだが、その 々媒の上から外へさし出してふる

心ひそかに漢目占領の光然の目(この第十を見てゐたが、妙に對 中に、彼を引いてやる内壁い力が一たくし、おりかりしますことう 去ることが出来以と言った感じで 苦しい、切ない気持になった。むづ あつて、そのためにどうしても立ったぜつて、この問屋敷にはとても おりんは、路地から眠も解って 龍之介は可談さうなくらる赤く で言った。

がつのつと來るのだ。

でにこの事を立案したでないか、武落しのまはりをぐる(「鑑って、」でにこの事を立案したでないか、武落しのまはりをぐる(「鑑って 腹立たしいやうな、不思議な気持「は、は、ばかなーさ、さ、さや 「何だい、みつとっないっまるで、た、いづれ……」

るる眼のやうちゃないかり

| 「一、「「「「「「「「「「」」」」」」 | 「「」」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 | 「」。 数領式の簡単取を除して明常

は来る四日、その世代する に任命観合した、井京下風帯道具、井家伊作氏を救羅。それず、主式一条変換機としてポケ年間競物した 道員佐々不治一氏、下陽には本府を行ひ、佐野鳳の後年には下鼎派

大野政務經監 安川東拓總級招待

| 本語の | 大野政務総版は一日正午紅茶郷教 | 安川郷之助氏を大浦町賃倉に指揮 | 安川郷之助氏を大浦町賃倉に指揮 | 安川郷之助氏を大浦町賃倉に指揮



めてあるのである こ、急にそはしくと歩き出した。一作でついや、もうすつかりよろし が、前方から人の來るのを見る がごかつて……非夜はいかい御錐

うござる。脚心肌をかけて相違み

が、ふと、その愛嬌のよい後失が からかよやらな芸術に望ると、 「それは結構でございました」

らつしやつたものと疑びますわよるんですもの、その方を限りにい なずつてゐらつしやいますと、 一滴川の段様、この達をうろく

おりんはつぶやいたが、突然つ

運河を非監中の総常部隊(北京場西方)

鳥の推動を表示した後五月和め出「も枕後間民の生所取免」での観秀。内臓の二人だけを連れ田中遺蔵は「蛇に溶した順井氏は能と揺にせみ合漢等の凡ゆろ研究機を開き、中、路も構保者のふに知らせ順終日際、養、今回は信かに近藤柳春官、戸、ようと云ひ出した。種者巡漣の光ゆをたて巡知項を譲る始めを節な「知して魅かした、しかしてその順「三十一日駅九時二十分京凝線を出「耳を止めさせ産金銀額の覚賞を見

三十一日朝九時二十分京被緊を出一車を止めさせ、産金報館の貨幣を見

り積いて神井部分館の療養所を訪 か』と終れ、整父の様に便しく切

ヤーを車中から見ると種質に忽ち

を致してゐるかを見るにあつた。

るるか、どの程度に減利率公の談

手の田の中に砂金採取のドレーデ

場内で変食の上、天安を経て温陽 | 総分院に入つた、こゝには自衣の

勇士に見舞の言葉を與へ一人々々

に「優けどうか、家族は變りない

への郷知事、島山野野郡長等の案 十一時二十分成骸に治ぐと、出題

批説を見て一路温陽に到り午後三

四百餘州を席後せされば東洋

時官民の出述へを受け龍山陸革納

あげる学品の砂金王國成数一帯の 上、一様にて毎日二千岡の収益を つて内部を見、前井氏を溶験した

めての小人敷の巡視であり、午前

につくせと、総代総督としては初

5御用掛も地方深長も自分の仕事 | 内し、總督は泥しざきの下をくく

内で赤星氏の成散の場を測察し、

これの南地質は、半島枕治の中-に形よ半島鉄後の隣めを強化し

温時にて松田特派且還】長期親一当のため一時中止してのた處。三一人々が如何に非常時局を認識して

用總督心南巡視(第18)

忠南派説を行る日を各関保管に通

十日夕刻に至り突如三十一日から

られ、前大使産任後の活躍は多大の揶揄がかけられてゐる

成
数
か
ら
温
陽

日衣の勇士を見舞る

いかとの観測が有力に行けれてみる。後期の消息並の間では同大度に信任機総差後直もにスツソリーニ管理と登見して、日獨伊騰共戦監察期の感覚表示を行ふるのと見てローマニナー日同盟】寄住職伊ポーランド大使ドルガスソフスキー氏は來る三日ローマ藩の確定であるがこれを御舎にポーランドの勝志観察認知が質視するのでにな

新駐伊大使の動靜注目さる

思識を任かによったが、「病」この止が強であった。「胃止血柱の」の代かに上紙を管理事よるのから「れた空つ無量でかけつけ細管を楽」

式の構築を標に附し新油章は

海苔寺潮五 郎

東京

大阪 H

邊商店

|に関い出意を排けないで、| 一旦、耐くなつたかと思ふとを不暇さらに見たが、それ以上別 ||おヽ、こ、こ、これけ……』 再許で雷が落ちたほど龍之介に 一旦、耐くなったかと思ふと、 太

ですあ、まるで今日はもう思わ一然も火のやろに赤くなって、龍之 さいますか。今日はどちらた。わ ましてる もう、およろしいのでく れから、御気分けいかででござい 「昨夜は失禮でございました。あ 介は軽をともらせた。

打

办

一はもうずつかり題でございまずわ いへんでこかいませうかっこれで ございまずわれる。こんな明紙で たくしは、つい、この路地の英の

挫きなら

た。

術用観之介である。 さが子家で

近ついて来たが、概が出た家の前 うあるやうに左右の家を見ながら

心止まった。取りついたやらに立

ぎくりとしたやうに

しまったまで、おっと門内を見つし之介けいよくし近を失った。 失調ぎ早やに整みかけると、和

絆創膏類などに配伍したものがありますが甚だ いのに、廣口の壺や瓶に入れたり、或は膏薬や で、これは常に密閉して貯蔵しなければならな ープ入りのサロメチールは理想的のものです。 殊にサリチル酸製剤の特性は排棄度の高いこと しい間違ひと言はねばなりません。其の點チュ その代表的なものであります。

吸收率の顯著なもので、サロメテールは

ては、サリチル酸メチール製剤が一ばん 肉や或ひは關節の炎症を止める薬劑とし

皮膚面から樂物を吸收させて、深部の筋

サロメチー

W

靜脈中に移行せしめ、そこからこの毒素 湯上り後か或ひは患部を蒸しタオルで温 の聲價を博して居るのも實にこの爲です を體外に排除します。スポーツ築として 筋肉とか關節に鬱滯せる炎症や疲勞素を **膚膜を通過して容易に吸收され、深部の** めてからサロメチールを擦り込めば、皮



百個、モニー、二十五面の外

の女だ。の次に『列車、輪部』を

發表訂正

日今回の朝鮮的佐難に第二回 民郷化を鬩る壁前から物に二に千周券を加へたにか國償の **士在間弥を暑加してふる、な**

の所持金千五白九十四を持造

間に轉落、大位の貨車に輸出股線

不雨中

したが観視を発れた、観覧の際機

機士批算文)が山字章、西頭間白

惩罚行货物列亚那儿一七 (顯

ため自岩、低岩間四ケ列車の運轉

を通りからつた昌信町九二根警律

乘組員二名重輕傷

れたため軽佻、機師土け爪條、事間助手化仁海は反対側に張り落る

熊本縣主江京城本町四次。現場へ急後、運郵復郷に努めた結一

愛國心の暴風

龍山病院へ慰問文と繃帯を

當局、斷乎調査を開始

貴族訴へらる

日京城南大門通一ノルニノー阪

見子ズ子さんは、さた見ね故國に、横へて海を渡って原身闘親、東京三十の帝領日本治療関係管の欲障、検証・網帯での他多数の験問品を回続、アメリカ合衆國カリフオル つき禍人が海土に贈る齢間支入官

大阪、藤岡、名古屋等の 各地を

をして日本の軍人があまし 会見日本と支那が戦争 がたいです。そして怪牧や 働いてわなのはとでもあ

乳を来訪した。同教師は満洲か

白

圓の金鑛爭ひ

なほるよう

記録表の八訴に在定の結果へ

以來母內南山町、鐵路、樹南町



の怪文

す経済があるのに無刑事がソレッ。見て條罪追及中見るや既に入場へを分けて逃げ出。ものであるが、チノビデの根末

舎屋を死守満鐵社

く即戦を什し献を一人として爽へ

進げを妨害した開戦の一盟が同夜

は 国が新しくて歌紀、作りのが戦略。 婦人俱樂部が大評判 婦人服は斷然

と同時に別案の可憐日本人二名、 つた横口馬(保護手具を行う) 丁一時頃〇〇〇瞬の工務に融合を

宇垣さんの報告

良子夫人の墓前に

外守は三十一日北京の諸郷平沙所の上郷六名を難した。この命蹟的

つい近く横目氏を表彰することに

赤誠の慰問袋と慰問文 兵の一け、帝二高女にて】除軍一所った【官員はこの

大氣豫報は

案內許進早

假名…が三十一日午側三時半

ツク信徒一行

無錢豪遊

「力して引館へた、東大門署で東國一時出三分京城縣高三、三道の豫 等が消六十四温纖、御飯、煩草た 仏飲食店京城館李順伊方で七名 日午後十一時ごろ京媛所用町三

監難させてゐる、京城至子町七 題った操作事件が發生、網路官

その間に協まれた連携協難

本語の日子を取る。 では、十銭の飲酒代が排へず手事。 1.0二字 2.7 では、する同時の個女を殴打暴行。 一十銭の飲酒代が排へず手事。 合、軽数足約五百回の影響を働き物取したのを手始めに自動車十数 京城県高町四無職地県東二 州合前で新品自轉車價格五十組を 遊興費を稼ぐ

持越夏帽子

日より五日まで

無難四點時價五百開位、最後に 學在中の現金六十四回を、次に 「金明計外五點時候」、百四位を

松祖和二方では金子

月一般東取闘へ中であるか

.

本バナマ・ストローハツトの一形成分大変出し

バーゲン・セール

階雜貨部特賣場

京

脈薬を密賣

を納付せず生間片一貫價格手二 居民制めるべきもののうち一部 同片環境の許可を受けたが事實

より五日まで

一階吳服改場一

六階ギャラリー

洗濯屋の僞外交員

の中央…景勝地

望等々斷然他に比類なき 「區に突如高級住宅地出現!

愈々整地工事完成

分

開

始

理温

7實際! 頭痛に

ゲニーナニョ

但し資出し期間中の事。 上大小 より最高二十八圓迄(平均三十二圓强) - 御契約は早い勝ちとす 十餘口

か今晩6ラギオ

青葉小學後は直ぐ橫にある。下水完備、水道、電氣、瓦斯等近々敷設交通は野砲隊停留所、爛生町停留所より十分、麻浦線へ五分、バス近々開通す、ご 口數僅々二十餘日…御中込は一刻の躊躇を許さず。

青葉町一ノ三(黄珠ヶ丘道路突留り) 土地經營事務所

途のり、詳細は事務所又は現場係員へ御問合せをにふ

蒙疆のカトリ











































戦力時、無能の除い東沿軍ニ合撃 韓戦幾多の困苦と戦い第一様にお 7歳夫部隊長は二十八日本町六田 J脚しつ Lある鈴木(腹)部隊中 ||大田|| 北安山西省の山嶽地帯に

三つの嬢ち

家内中の名前も器用に書く

他政体の一で頭は二十餘年間形

松元祭("1)の筆風隔頭("4)=何れ 【金川】黄布江金川郡古県面松明

恐くやうになったもので掲がの果」6日本文字を致へてあるが近所でつくりする位敵単に自分の名削を は要らん。と興戦になつてもつば

固城の泥的【周焼】

清津に神童出現

りしが如く 聞より補給 とてな然し 揺食には極度に 困難しあ

(窓具は中村部隊長)

妻女服毒自殺

なんと三百五十ミリに達し

鐵道其他被害續出

金海地方の麥作全滅(金貫米合著の新聞は三百九十年りにより即内で野機能に移めやつと進行した見下倉間構築の根が開発中であるが利金駅大の見込み でありる際域、成安方面の道路も映響し一時不通となったが三十日頭部/天候同歌し全郷を線積勝貝で十九日三頭那、栗州線線道は高原、韓山間の線路崩壊。年後四時二十分から年後六時まで列東不通と一十九日三頭那、栗州線線道は高原、韓山間の線路崩壊。年後四時二十分から年後六時まで列東不通とから、東山門に、北京市の東京に、一十九日まで約三百五十億~リに通し各地に飛ば竹田し二年かり、 は一時水流になり天候恢復-にも相當破害ある見込みであり金維郡では三十一日那總督保真を動員して、贊内各層面に無路に

して三日間調つてもなほ説水敷買町歩あり二毛作曲の変作は、金蔵床感で

白兄弟修業の旅

本紙及び母新愛贈者のため半島樂 にさきがけて本能鳥数院支属では、進めてゐる

塊が生んだ天才パイオリニストロ

|政け村氏が昨年八月頃から磐井殿| 遊前、三百高山(* 見弟を招き歌 押しかけて火喧嘩をしたことがあ あることをきょ二十四日姿女ガロ 出館で朝々しく唯し大盛食であつ 前の襲戦今(三)=假名=と通じて たが全国及政院を最後の巡遊とし 安の夕を廿入日午後入時から日の

牛坑(縦)いらずを燃んで自殺した原一哉しこの世を指算したものである。の都ウイーンで修業、弟高山君も「も復名」はまる「十六日千弦五時」「鬼獣して三名の愛見を嬉して服」て自瀬庁君住魔獣 苦勢家の憧れ

て自海市君は茂歌し苦樂家の憧れ

落した百三十一日朝大田界

期待される新工業

朝窒興南と日窒本宮から

【鳥鼓院】既報、線度のシーズン 東京で破器を続ける。学で作作 鳥致院でお名残らの演な台 町山を灰坑に踊したいなである 慶北辭令(卅]日附 大事に電らず消し止め作体的

部技手(機械都在翻) 进技手(機械都在翻)

財布を落す

慰問袋

にも必ず

李 晋 縣 (陰泉)

するが函産は八千四に過ぎず、特・概めた三面を修像駐在所に関助散一へその他・月末に動れる日消質素

金として客託した

また密航船

十五名潜伏

プロもお郷

上場の許可を申請

体殺虫劑

と段違ひ

特遐萬歲大會

ユニ際 囲 毎 大 連手が明念を、即な地が水 裏 が単チャンエティヤーン 野 自 ヤ ン ボニチャル・ 東太郎村別 明 カ 大

中中國

五月三十一日4万

大月二日まで四日間 一二十 日上り四日間 THE THE STATE OF

犯後 正大時別版

20年々に鉛筆やペンを振って自分

盗んたカミソリで

ごがめた男を斬る

ヌクテ出没

農村を荒す

カーボランダム母鹿工場を、日撃

嬰兒殺し公判

の次女正子もやんで可愛らしい

是前人味明智曲鐵造菜山心號三

ベクト二十六文字を備え込んで

る切からA・B・じまで味る始末

んの先生の方がいょらしい』とに は『山崎さんに商政より正子もや

何夜も鼓前店に窓び込みナッパ服司飛窃盗前科二組の李明役にかで

は中等學校に連ぶ兄さんの勉闘す

にお父こんの方が慌て出し。英語「、笑ましい脳次を飛ばしてゐる

人の目を丸くさせてゐるが、正 2名前は勿論、お友達、 雨収から

【半廃】三十日午後九時頃府内竹「懐中にはカミソラー杯隠してる

金川の大泥

具の名前をで器用に掛いて近所

ちやんはお父さんの間に抱かれ

二つ様えしてゐるらち、

少年は突如路んだカミソリを揮つ 七、たが遊見、叱りつけた虚件の

【金川】黄布五金川郡市邊里推行

は垂月盤回同網のメクテ靱米に監。ミナで金剛石に近い硬度を有し、 魏洪經で開經、鰲役三年の泉形がの山羊を喰つて逃げたので部番民。の化合物、アランダムは解釈アル より佐々木規判長様、野澤、鈴木山羊飼育器に山メクテが現れ條方。カーボランダムは解釈アル より佐々木規判長様、野澤、鈴木山羊飼育器に山メクテが現れ條方。カーボランダムはカーボンと話義。の第一回公科は三十日午懶十時年

也) が緊留してあるのを水上零点

【釜山】去ろ三十日保夜南海防波

が鼓見し、船底に散伏してるた士 堤に所有者不明の係強動機器(大

犯の財幣を有する場か者で吸収取 留は総統仲間の大先號で削料甘殿阿比留賞(wg)を取押へたが、阿比

設置方促進羅津取引所

情点彩角北面三年间B紫統錦坤方 | 刺法による許可申請啓を提出した |

一般の商品を踏進にかいつたので和 商事発表方で去る三月三十日夜多

作物に多大な被談があるのでこれ

夫婦狐の鐵道総局ご見物



oo 全津化學研究所 大四·大二和III

(Dy

留に無智足が、智虫には 智に働き、キュメが強く う点で、液体と閉話で、 さん形で 必ずで さい はあるが、イマブは、ど はあるが、イマブは、ど はあるが、イマブは、ど はあるが、イマブは、ど はあるが、イマブは、ど はあるが、イマブは、ど はの間はその他、勝切器とな 類に指揮症を資子必要が 利で解辨的です。

上海 場別城京 2

局の部門から恐び込んだととろを **そことになり、 賑やかな話題を投** 歴は地質が女房ヤアーイと似近郊 くれ

な

悲

を

退

つ

か

け

て

来

た

の

か

受那支責公立非常小學校門長支 **支股校開校式 [新兴]**

3<u>。</u>學產者

は一日午前九時半から阿校侵校や 青陽產組新築 [基] 中風と高血

新築中であるがそれが移工物等は 市場車品組合は韓国三千五百回で

新完成

療 法





なる説明を提げ、登録者引 大に執行された、この日全隊是を祭典委員長として盛

倒舞等の俗異があ

者を使つて去ろ三月二十七日から受けたと稱し同地愈定國(**)外四

夏つたことをこの程が見紫に茂化

愛國子女團

咸南道内に七ケ團

愛園式擧行の準備

里牛皮配金達及、b)に昨年十一月一路なが川面の鉱工所金頭声に迫り

【新義州】 総飢憚が生んだ質の態 | 六日間に亘り稿の一部を破壊して | 六、九八一軒のところを(鼓川ー

白晝堂々人夫を使つて破壞し

鐵筋を扱いて賣る

泥棒——平南份川郷份川面電路| 総版五千四百斤(時俊四百四)を | 光明縣間)

「新池中、前方のレール

- 機を三十五面で江東市守から排 園)を築み窓を含古物的会院機にれの著二統治路の総版コンクリー 英雄して艦城一千四百斤(時頃首

一鼓車したが、右切衝型人は西面鼓 の上に陰感物を酸見、直もに気停

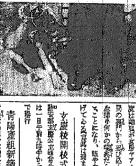
川里型業権に顧の二支機大関「6

短副會長 北村

たった英穏を祀る寧天の春 【室天】大陸登展の人柱と

盛大に執行

し、モダン既会を何いで怒威して「大月上旬の豫定





兄城日報春川支局

一等百圓、二等二十圓、三等十圓

六月末日

はかに佳作若干に記念品贈呈

限の結成準備が成った。六つの公

|家仕事業物評漁班等に参加せし||大学傳事である。||東京学子女をして単写法||食總會を振して愛殿式を発行

班送生、金井田、金起屋、金田

・座北星州郡体倉洞の夢動者

【大邱】鉄後を護る半島同胞の表

勞働者の赤誠

のが即ちそれで腕具二手六百五十

邱藤瀬項行の列車(第二五三號)

【大邱】三十日午前七時五十分大

達の悪戯 線路に幼兒

80%

(Car Cap



下類文では件々根治し降いが 濁り血を浄化

してあるのが。今時 とい語溢血や心臓症 で、 食い血感 するので、 真い血感 するので、 真い血感 る淵り山を部化し



電子の戦慄 (日本版) (日本版





防げ 語授

商業登記公告

多頭取粉 きす。現るの食物 プス・コレラ・関例

聞くと、即は全部命ガスにからつた様に 食庫の十分段前にも御取粉を多し扱いて る室内に少粒揃き、十分間程期の切って 東部 (本本) 日本 (有明和新華四月代的山田住里

コロ(朝がつて死にます。

聞くと、如が一匹もよりつかず、安心し

食癖ができ大型衛生的です。

の重しらみ、ダニ、羽虫などものみ、鱧、油虫や大猫牛馬、家鷗のみ、鱧、油虫や大猫牛馬、家鷗のはかりでなく。臀泉虫、家ダニ

南京山、深近三

く子語します。

顕居にあり)

型調音ゲカワ

特等の外呈する

放應作片被情好金 特別組織

漫談舞踊 潤 龠 回朔

法人登記公告

教授と學生

右劇封切の問題映畫

太





【12】一言にしていへば「歌か

年難だ

お子様への御土産、贈物 どうぞ家庭教育の資料

子は、メキー・良くなり 「講談社の繪本」を見る

成屬松原通二丁目五章 治念年參月參提日付。 特式會並入監查後認

が採式各で株金り金の一件拾載川五拾銭

第一年間和京学・四月合四日登記 第一京東京大門金越和台、昭和元学年 会月金号日田安越田台、昭和元学年 一世安建的金四〇巻四月、成十世夏 第二

越植へ昭和行為年沙月

偉くなります。

としてドシー

各地の有名書店で販賣

腹痛の時は







部鮮之張菜 (五月號) 三十銭金

早い話が、惣瀬の

対域の形

剪界(五月桃)三十章

毎田町一ノ二四、紀元番房 | 行所| |現 (五月號) 五丁銭、東京 | 京・豊島・県島二ノ三五勝貴 田・一ッ橋三ノ三、全隣無通信(五月號)六十銭、東

「麻田蔵の『大阪文楽人形谷瓜合 ネ・作品シャルル・ヴァネル主族「東田蔵の『大阪文楽座の古田文正郎、『精竹紋』▲菊県東京作品清小熊天・古川登 文樂の人形芝居 十五日から遺金座

コテッガアに移り、普通の質問

京龍館【六日より】▲原製

明治座映畵評

カタログを呈(集三銭) 大學堂眼鏡店支店



戶 ^{瀬皮外} _{厚科科}

蹬四

電話本局②二四九八番 潔 輝矮登記公告

十三番目の

机

映書ニュース

特價七十錢

文藝春秋社發行

日子で目光の望った「飯」なら ミレヴュー』を上演してゐるが、

《城則揚では昨世一日より來る五

京劇の劍戟

〇中門 政行氏 (新造型美術

夢 藪 だより

各眼科病院處万眼鏡責任調製



%四・九九度粹純

錢十個一價正

二府價は貯銀が買入る 千萬圓引受

| (本) | (a) | (

大きない。 のでは、 のでは

は、(十二日) ((十二日) ((十二日)

追求へ飛道に陷ることないとも

イデオロギーの温化は不可分の云へれ。配合機構の機光と配合

先跟七仙八七 元、四五 六、四五 111.110

八八等

七七引

東洋化成 會社を見直

東京市豊富福州衆三丁月 泰五四

明

激烈で坚んに道限を繰り返し」を與へてをり、彼我般線は次第に、これがため酸の抗峻暴分は | 開耳附近の敵市気に不易味に彫力

隊は開海経南万地方を猛進中で、 一江鮮、安徽、河南四省境を突破、 部を睨んでゐる、一方永娥、蛮縣 職によって全く戯い意表に出でて

【新京一日同盟】関東神宮に對し が非常として本年より開始し、

脚形局費冒茲回を以て五ケ年

關東神宮御造營

河南省中原を低服、西進中の各部

慢渥なる御沙汰を

全職員に傳達

電管の協力を行うここになっ でされる。 更に官民一致とす

数域、両も一望の下に旅順港

寺内最高指揮官から

たが、北支軍司令部では三十一日等内最高指揮官から職員 大元帥。

は宗州大捷を弱せられ去る。

「十五日廟幕衛長 島民下を召させられて皇軍帝士に後還なる領沙汰を聴けつ

のる。

蔣介石亦徐州敗北の汚名 この一般によって当ぐべく自ら

武みんとして十数ケ師の大軍一番八製路上の要話を撃取し難心服

|河渡河部尾||大阪なる後方迂回作||最間されるのも間近に揺近、戦闘|

の進展に漸く目覚さしくなりつよ

【北京一日问题】 龍海線南側地區

村圧の敗敵を猛撃

敵十數ケ師を集結

一揆近社郷に開封攻略戦が本権的に一を進撃中の大震快運部隊は、三十一

部派に封して銃烈な攻撃の銃器人(数音方針に撤足した語音は、吹き・も利縣城近くに肉郷、城内の銃人、き同校の島國籍跡を土産としての

我が〇〇部隊は一日午後四時早く

線に出る中島岩年の教育方針を聞、突然の籍者の訪問に駆逐して感読

妻女スガ子さんは一子洋子さんと

にむせび、独督は色々の法派を取

から時間した、留守居をあづかる一六百米の養婦所まで入り、その作

受け皆越校長の案内で設材の第一

雨中に戦略カーキ色服の出連べを

十分典域に深貫作単校に高いた。一〇の家族解制に傘もさゝずに庭光一つのヘルメット権をがぶつて境内

力をするやう一両を励まし、アル

書べて振都を偲び午後七時宿舎松 地技能山に登り當時の落城し昔を ふて午後五時扶除に着いた。一

折柄の暴風雨を聞いて午前十時11 | たが隔途、何使故跡新本三吾氏(s

長学校を観察し生徒に質問した上 ビショ内れとなつて能念植物をし 「蜂食山を飘霧重食報陶に一暦の第

|共に起き太陽と共に儲けと剛示し||に到り後生の後午後二時「五分九|

寄留含まで見た上、一同に太陽と さへがべてのる、横いて洪蛟郡殿 三百年前の百路の舊郡を物語

生徒の質習場から朝鮮家風の一音葉にスガ子さんは目に一杯の深

一衆を見て突如扶除郡城山而元と

[〇〇同盟] 円線街道を監理する

角奪取

際色に突入これを占領した 西遊する我か沼田部隊に一日午 慈辭一日同盟] 開海鐵南方地區

扶修に向つた、途中畿山郷川良献 舎師井節を出發、第二日目の行程

一泊した市場督は一日朝八時年間

【扶除にて松田特派兵器】 温陽下一つける雨の中を外套を引つかけた一中に立つて吐く横貫の悲災の如き

南總督忠南巡視第三日

札縣城の

壯烈なる開封攻略戰

|自指して驚驟するこ||【上海一日町盟】問題の隣民政府 | れば最高軍事専門ハルケンハウゼ |

ハ將軍漢口残留か | 漢ロより徹氏なる城への簡報によ」たと解へられる

Aれば、日本市の順角的攻燃に | 際に移縛することに決定したとコーコーク・タイムス紙選目来で | れら外向と心連帯に弱も関すたる

ーヨーク三十一日前翌] - とにたり、軍事及び外交總額に何一ドイツ人軍事職則は先職ドイツ政」ノ務軍の人は個民政府との契約期。日午後四時君庄(郭駿西方見之七

軍事外交機關は貴陽に移轉

落を決意

れら外別と心連帯に最も便利な費。所の命令により既に殆ど金部護り。開示了であるとの個人的理由にて

を引揚げ諸国の途に就いたが一日。依然漢自に始み止まることにたつ

離を加へ、大打撃を與へた そり、附近において映画の歌に騒 勢ひを以て建筑を指落西道中

四方に敗走し、〇〇部隊は破竹の金異へ滅は死體百餘りを遺棄して

吳梁焦南側敵敗走 線壁陵西北方九キロの泉奈泉京一日河辺一我が〇〇郎隊は

(んことを期したのでかり)。

市の住宅高域に分放し、第三國市の住宅高域に分放し、第三國市の住宅高域に分放し、第一国市の機能を恐れ軍事的諸施政を都市の機能を恐れ軍事的性質を有する。

嫌罪の被害でなく、上海におけがあつたとすればそれは決して

一般大重要撮話と化したる度一般空間球の操撃で軍能品種

炎・森に関する情報的長談

支那に異くた衝動が非大であつとしたものであった。けこれが

しかして日本流行機の政

の手腕に信頼して誤りなき所で

に随明すると共に、支那側の宣傳を徹底的に反撃した 大なるディ貨権により我が空域を都市及び非規間員に担訴を興へたと誹謗これが宣傳に努 【東京電話】最近連日に耳る我子等軍の慶楽軍事施設候職に對し、支那側は例によって誇

日 に豆り関級市内外軍

不安を却つて盛り立て今は如何なる奥地にも安全地帯なしと嘆せしめてゐる(寫眞は重慶市街) の周圍二百キロに亘つて各所に創設、また高射砲を到る 所林立せしめ更に重慶得る地下避難所を市中及び 山腹の岩壁をくり接いて急造し、防空監視哨は重慶萬元の補助金を支出しおらゆる 防空施設を行はしめつゝあり、六萬人を收容し高元の補助金を支出しおらゆる 防空施設を行はしめつゝあり、六萬人を收容して狠狠振りを暴露してゐる、即ち一日外電の報する所によれば 國民放府は五十安全だ』といふ觀念は根本的に打破されて今さらの如く 防空施設に狂奔し、周安全だ』といふ觀念は根本的に打破されて今さらの如く 防空施設に狂奔し、周 消防夫を増加し、現有消防車二台、救護車二台と共に萬全を期することになつ の家屋櫛比狀態に纏み、火災に備へて 漢口から五台の消防自動車を新に購入、 底に叩き込まれ、従来四川人全部が抱いてゐた『山間僻地の 重慶ならば絶對た臨時首都重慶では、國府要人を始め一般住民達が身のおき所なく 恐怖のご 上海一日同盟。徐州陥落以來日本空軍の脅威をひし して過般來新に設けられた。高射砲の性能試験を行つたが、この砲撃は市民 〜と 身邊に威ずるに至つ

順東は重要なる

軍事施民、官衙上衛原的批響を東 海軍部當局談を發表

北鮮視察中の極原學所易長け三

鹽原學務局長訓示

脱した後、午後三時半から、威夷

自威興 府内の 初中等學校を高

る。旨の法館の旅銭を重ねてる

が州一日之を表決に附した特別

者以外の 東洋人の移民を 類止す ロッパの一國語を讃み替き出来 **「院にかねて「英語その他のヨ**

【オツタワ三十】日同盟】カナマ

法カナダ下院否決

【東京電話】我が連邦航空隊選目 [りと遠電隊をしてある、これに對] 寝に對する苦心を挟ました 事策源地なり

同解城の一角を占様、輝く日章族 を浴せ敵を贈迫しつと同五時途に

「関して領別権都市に関する空域な、直視、並に我が方の第三國概念地」りつくあるが、國民政府はこれを「民政府の軍事領別地となつている

り、抑々関東が重要なる東市年完別空場なりと宣傳しつよ

家の書跡に関する無切な訓示を記 殺員に對し、時間に對處する教育 **延平、销興、長津、 秩原享在職の**

温陽發扶餘に入る

名都市なること明白なり

外務辭令【聽】

E特命全權公使(二等) 特命念幅公使(メキシコ) 越田佐一郎

これ。気で我が乾燥が 、にして、これがために技体、中に構築せるは附置に示す 轉習所長 相原言三郎氏著

明け我が空孫による軍事

原東空場に関する情報部長談を發表

伽牌地等を密報せる市街地 に支那側が殊更らに

岩槻信治氏著

送料 六十五<u>载</u>

作改良精說

送料 六十五 **錢**

▼ 宣傳が公平なる第三 正計のため却つてその防禦 つて、廣東市民は支那倒の心に思はざる被害を異へたのご

國人目撃者の談話により物辞せ

歐洲語解得者移民

に拘らず、我が海軍航空隊は使動する攻撃はこれを許容しあるは一般に防守せられたる都市に して順原法規及び位例

京元線佳谷驛新設

領本(パナマ)大谷 領七ペナマ駐荷旅動後仰付 キシコ妹パナマ在勤を命ず在公使館二盛香記官

◆高桶祭博士 (城大敦授) 城大附 ◇孫斯肯四郎博士(城大附屬初院 新任後物の爲一日朝本証未助 会及) 同上 会及) 同上 田英三氏(朝鮮度景物協会)

長)新任袋野の爲一日本駐來訪園病院是蘇任侠拶の爲同上

暗礁に乗上

で「総のる」と、して協衆を執行、職是外職係官田席、鮮内要素養者と機然したが一層点見、練ま、所 家において機管原側から美黒器野上機器したが一層点見、練ま、所 家において機管原側から美黒器野上線

思連に機数を決定する必要がある。富の現狀が切迫してゐるから

に高の適法機関に移しては如何とことは不可能であるから速からで無数候解を選任す

昭和十三年度帝順位共臨定會職は

の一覧について意見の一致をみた

三元

新学用川半の 鹽鹽緬羊飼育精說 題曲辰村產馬要說 程学場長 岡本正行氏著 山羊の實際

職裁職 小田鬼八氏著 鍵 流式 遊遊 小田鬼八氏著 鍵 流式 遊遊 雷蟲主任 尾 崎 重 夫 氏 著 发料六十五立鼎專試 尾 崎 重 夫 氏 著 定價六圓二十 版十 四寶縣 厩肥堆肥精說 西
京縣
肥料
地用
精説 質用土壤精訊 度 作 題其語曲反業經營計畫 整备场员 伊藤小一郎氏著 試驗場技師 高崎 卷氏 著 試驗場接師 高崎 卷氏 著 **試驗場按師** 高崎 卷 氏 著 **風場** 島田 要安藤安孝氏著 題農業 經營簿記 **繼會按師 米 倉 茂 俊 氏 著** 韓醫所長 相原言三耶氏著 匠有畜農業精說 量 生 山崎延吉先生著 生農村教育 害蟲精說 保男氏 著 定價四圓八十錢 送料 六十五銭 差料 六 十五³ 送料 二十七錢 **送料二十七钱** 送料六十五錢 送 料 三 十 钱 送料 三十三 链 送料 二十四號 送料三十錢 一八〇五京東替振 七九四四田神話電 文

あることは、理の富然の かねと防護陣の場化に多 言はわばなられ。しか

南生施設の完備、政防法外の 極めて小さい数字であり、争・

不炭瓦斯發生爐 普及に乗り出す

傳染病に備つよ 非常時衛生陣の强化 年以前の數字に比較すれば、 合少数であらうとも。 前年ご

原常で獎勵金規則公布 たければたられ。

社會に概念するやうに努力し

のな。即も衛生の大勢訓練が の共に、自己の周尾環境がし各自が自己の歴頃を 支節に入るのであるから、 大衆が自動的に強防陣に

なければなられる特に言 られるこの心がけを特たれるほどの心がけを特たれ

間商工師で個々研修中であるが

のもとに、一日附本府々合を 斯曼生態の普及徹底を懸行する。

て次の如く競表した

西本商工課長談

る事となった。先級天理解路

閣申出謝絕

| 井忠温、宮城近峰の諸氏を初め四

チ首相から懇請を受く

これは主として海軍直殿の艦隊空一脚あって藤原計器同長から打合せ 市項方針の説明あつて穏々の打合 **十五名田席し、先つ本庄總裁の検** 天津の綿布

軍の充質費にあてられるまである

近く競扱の段取りとなった。

市況基だ不振 珠に二重税に関す

回傷經軍人 粉碎指導 聯習食打合

神は礼能る不利な環境に関されて 施格で品を狙ひ、地場製品に對

平壤、新義州の

れこの合計一千五十萬間に帰鉄、 肥料資金三百萬圓を 預金部から受入

賠償請求に決定

問題となったが、右につき高國の田猴正問題は登川我が関朝鮮の大 キンピーサウンドにおいて総織山 県原文町蛟】衛州政府の総線権一の開發に當った日南総綱に公開者 その五百萬間をは今日まで全部使 |本金||千萬頃にして、その排込金

京城駐在本位 理事一名は北支

かつた。潤速の感染は、家畜の飼 える調逸、伊太利に比べて向野

朝鮮農業の進路

[L]

日滿支の農業調整は如何

選、伊太利の恋素は如何、面積、

▲面積、人口、耕地 |昭和十年の樹町によれば、三國の|獨議、伊太科は紹作中心の主意的

業である。わが國は米作中心の主

日産二十哩、菊鶏州の茸パメ、開始、日産五十疃を生産する豫定一つる **朝鮮の物價對策は** 栗中の平寝船橋里の人。プエ場は三百英間(陳建立スルブ)で、工場越来に阻闘に進捗して居 資金雄で中止 淵棠北支進出

なぜしめるため北支方面への音 立に関して消消層の同義者たら 株式若干を引受けしめるか否か

内地に追随せん

米内海相横須賀へ

小川平吉氏

個支間題その他に就いて要談し 【東京電話】小川下吉氏は一日を 近衛首相訪問

夕刊後の市況 商内振はす

配料賞金は和金部から既に長期安 | た短期の肥料黄金を全年に六月に | 銭を軽佐するいとなって、ゆっため に挟ける物價は、朝鮮獨自の立。ないと言つてよい。他つて朝鮮に「合勢であるが、火物に於て内地のすることにたる指標である。朝 に得るものは極めて少なく、概だ「見だよで朝鮮としての其物業を締 接た開聯をもつものよみで、静産一会を設けて再校的を加へてある服 乃至朝鮮獨自の立場から對策を請しななので、機督府ではこの貨機を 當分內地の成行觀室 本年からは受入期を繰上ぐ 地方銀行の遊覧 金丁殖銀理事談 洗濯石鹼の輸出に正月にけて二十 國面銀近で北韓線沿非神事場よ る五月二十六日前で正式に競技 て韓道局に発許申請申の大日 五二十四二十三郎を加じる 日から貨庫

及みずのたはこと山 德富健次郎著

全型北京了高田 天本貞幹課 第10.800H

明治天皇可集企會是被職员

昭憲皇太后御集全 宮內省藏版

伊贞于河白等 實门

とき放展見 | 「本本品」

夏目歌石著 各級四〇

正宗敦夫校訂 渡四〇

吾輩は猫である。」

報孔

鉛

南總里見八犬傳 E 小地藤五郎 中華 - 馬琴

相良守攀牌がマンル

水井荷區 F 喧四O六

おかめ

断 第一三册

い別的緊張とは名匠ズーデオマンの国原川である。 みる仰き破象的情態と、また調査の心を設建の一貫まで捉みる仰き破象的情態と、また調査の心を設建の一貫まで捉り間で認めて数ひは來る。巧峻を強めた少年心理の値

中西居太郎等金の大 シェイクスピアの聴劇と 市質直散等。200人 暗夜行路雪

恒102011

間10歳0三 なり 一 生島遠一 緑田の新の大

井上・石田嗣 BOIII

限りなきいのち

國松季二群 袋OIII

あだ、花質言

狂へる花(ウルズラー)

冬 物 語-ドイツ-

夏日漱石著

毎州の前落作の 岸田國士婦 ルナアル作 家的な対面である。ないた対面である。ないた対面である。に、完証だる野権を走る関末は、完証が対象生活に入った。無心の力が変態生活に入った。無心の最も名高く、この作の成功を

零落者の群

中村由新聞(送〇大 死の家の記録第二部 杉 锭夫 羅 袋OIII

上田 通嗣 衆Oill

シード 田中華一郎御

老

「大小職區の選中におって物博上くその新疆を撃心と大力職匠の選中におって物博上くその歌唱なの歌中におっての歌音を楽した上巻に至る翌古の班段を記さ、その掲載と歌手にだった。(上巻 慎四〇)

小野師年師出一遠〇九 歷代名登記 面內積鐵高點 第CEL

學の根本問題が対象

湖水役太郎郡 第CIO

神 達 夫 韓 遼〇大

吉田小五部簿 上 頭穴の 吉田小五部簿 上 頭穴の 東京の東京 上 頭穴の 荷野伊三郎器 題の内 科學と観覚

WHITE STATES

#336 37.85°

文庫總目錄 建 店 書 波 岩

娍

運

動 場

日

中 **参加料 込** (一般1,00 所 込 <u>學生</u>,50

京城日報社事業部

京

六日

朝鮮軟式庭球聯盟京城。日報和社

正式決定 三日の閣議で

る二十四日の定例脱跡で法領

底的大衆化は最も有意義

である。

き時、禮儀作法全集の徹民協力して勇往邁進すべ

秩序と禮節を整へ、 たる素質を必要とする。

れる御家庭では是非一部

球選手權大會 庭球場 高豊 場 発 舞へとる 日獨交驩庭球第一 頭して恒例の赤羊貨物に加の下に二百四十七名し 和協會主都外六回全計所將所職 刑務所職員 最高四十六點

経増加を避け **棚込を徴收せぬ**

件し總體の人口から見ると五萬中に行き亘つたやうです。 の口を通じて、 だ買ひたい人、 や六萬は比較にならぬ、まだま 人が澤山にある。

人登記公告

殿麟蹄出張所 人登記公告

州地方法院

禮儀作法全集の註文が殺到するラデオ体操が始まると同時に、

了れば、 慶應に 勝利の 概令 文配され、原旨委へ、打備言述で

(野球)……大學高專大會

うに思へるが、感傷の不風氣に 比一環は、一本の安打、

各社に數量を割當

買はねばならぬ

それらの人に買 どうぞ皆さい

公人登記公告

商業登記公告

殿南原支廳

题字昌出**張所**

後出しな告

人登記公告 經濟昌出張所 經濟昌出張所 經濟昌出張所

内閣も改造强化されて非

陸國策の遂行には大國民

階る健康美

八登記公告

悉登記公告

総成者川支順

いというものでに決してあり

ひられてるたいそうですが、

提びのやうな形をした神 【ランターン・スリープ】 た被 を対した風船のやうに膨れ ベツフ・スリプ】 拡光を

の疑目が耐いで通つてる

そばかす警報 ×××〜紫外線が日増ー、に

機な人の皮膚

刺媒を避け徐々に皮膚を強め

取除く法もあります。以上いづれ

放戦ヤクニンで一つ一つ原館して

総約屋になります。其の促進動石一ので十四五十段、兩面ものです

觀戰記

畜 飯塚勘一郎

中へ出る概容が多くなる。汽車の

文靴を穿く人で水虫に同されれ

皮膚テヤージ」である。本野

世の中が進步するに従って、

根据よく治療をせればならない

文化病といはれる

易いっであるから、良い治療法で 加坡な一時的な治療では一旦は全 三年文三年』とさへ明はれ、いゝ

を簡用して、野郊が民皮にまで到

で『しつく三年又三年、治つて

に取述すことさへある。 たりして折角の岩選を皮膚病の低 の縁誤が破れたり、就職を贈られ 繊がれ頃がられて、その低に折角

発音 (経済)

が二週間も越てば得えて見塞へる が死皮となって取れてしずひます

その謎が一時尊紅色になります

一七〇グラム位、小さく疑めばボ

子生だ下宿からそばかすの田

光観を開選に助くとも大切であた。日除けクリームで自分など 外側にか言とかの韓田部ですか

場所に近しか晩 そばかすの出る

强くなつて来ます。

汁を脱脂織につけて繰り、

コロン木入〇、蕎麦木入〇以上の

む飲剤を館布するか太陽壁を肌物

第一局】

先 and 命

木澤

萌勝

一流爭靭

するのもよろしい

◇電気・計療法→ 電気的をのや、の機品で十八回位である物

れから特にお聞め致

一ツナ美国学院

即で無抗に手臂が出来ます

分の一の丈の様

へません、赤米の混つてもなのな

ると米粒に隣の残つてゐるのや、

春秋も着られるパーバリー

てみて、きつのあるのや、よく eman style、手にとつ 自米の なわけ方から中

沈點語指與

に版やなものですが、これも我してお聞きになることですね

では、ことで先づ総土方のレイーぐ破れたりしたのではお話になり

も参りますまい、まあ今の内から

かえりに前具のお安度でもし

の薄いものが飲むされるのは云・

の一の丈の裾、(半御) ースリプ』四 【ラウンド・ネジク】 順形 スリープレス)捕無し

ロウ・オック】深い許朔

地では喜ばれるか どんな慰問品が戦

らが炭火の上にたれて塔がも

が断の強い魚を焼くときには

脂肪の強い魚

てをられる県軍将兵の方々に今年 もまた原間炎をも送りしたいと準一何か適當な言葉を書き入れ、また 海灣民福增外男氏 題向です、盟革も権の上を包んじ

今年も生徒の手製人形、手製(ソ

ますが、苦味を去つ一葉味し 具合根は苦味をきらぶ方式

・榮養の點からも經濟上

いよくと規則になって戦しい。これにはなるもつて、破死し時してある有様ですからしいものに関心をもつて、破死し

一はお米のみわけ方、調理の方法な

また光分に相目して

談

か、脳砂米の缺點は、石粉で対米の

れるやうですが、石粉そのもの だし、石粉入りの米を食べてゐ

した、ハンカチは洋鉄の切れ地な 人形は生徒の思ひくの自作、ポ

らるに入れてそこへ茄子を十五分

ヘマートなるのです。唯、このペ スがメブルを召された恰好は仲々 、パリは少し地が厚いので盛夏用

Ÿ

「関いの張ひあたりにあてがい!」「糊くものに非さることをつけ加へ」せればなりませんが化本業本を完合にしたして難と」れる素人族ににするずして全治に「が軽絶した臓がな 用ひられてある。更に指で朝夕二、ブ密暦ライオン御暦に升御暦何れ、重啓の二――三記の水溶液を普通。て居るとは考へられません。クラー 此際時間に腹夏の『グリーム』様を使用する際口中で砂利々々

する、これが貫には概花に過去してこの部分の消離を保つ 期家庭手 の操標型を用ふるも可ならんが何 度位階級の全般を弱く『マッサー 特に食事後に行必ず行ふ機に出意 を要す、合成型としては側壁亦は 鄭をする。 亦此合敬は一日何回も 柳樂

れますが又ものはおへやうで別一で短時間にむでよく水を 歯槽膿漏の

本記は種々なる原因で起するの故一三分間押へてゆる。そして後は食 先つ此の原因の探究を与けられる Bめれこともない、家庭にて楽人 には石を除法して戦つて許のまわれた。 らは取門屋の手術により全快を これが緊要事と思はる。初期の押 治院なるものとされ 京城南郊校長 医影响士

か、昨年は、戦地の兵隊さ

寄生虫やバクテリヤは 皮膚の深部に

作后上

銃後の備へ 健 康 明 朗 鍛へよ身體

別社強の代時新
クニトスト

康報園

〇里記行 祭山—開門—至古都

仁川府海岸町

てゐる。中でも真皮は血管、 して皮脂腺、肝腺等がありて、互

ピックリこせて中の方へ逃げる

1年店 朝鮮運輸支店 酒田、船川、資森、

間ス

代 代理店 宮田南會 代理店 化解离铅缸 田朝鮮野船韓山町 内解運輸心出机 高杉商店回漕部 大和組回漕部 (田帯保事用電話) | 〇三〇番 薬は北島へ では、このは一番

味を除く法 百合根の苦 女子奠衛の字藝展



なる街数示をお願ひします

の様な製品には別に優劣を認めす

度間は弱力のある弧い膜で、こ

これが一旦題性の寄生虫やパタ

単に限いばかりか、何か思い病類

に近、その勢力の到達する要

認透療法の威力

所は外用型としては卵殻が脳辺を

汽船 基加 八船株式會社

90

8

ケダ小見内科病院

· 通過11111日 池田勝三

O大阪行

O大阪行

O大阪行

O大阪行

O大阪行

段樂兩病室完備

京即府令山町一丁目

歯磨に何がよい

好んて偃息する 普通の薬では到底殺菌

することが出來ぬ! 眞皮中に ウヨリヨ

> 大阪商船出帆 2000日南會

大切な真皮の所に違うると、 居る寄生虫

金剛山丸 湖湖五日 完山八日 破野四日

臣 安 丸 姚洪七月一日元山二日 臣 安 丸 姚洪七日 清峰年日

に、 元山四日 湾地七日 地帯八日 日本部船を開出版 一日 〇庚曜行 日 ○東曜九 日 東京都を開出版 大道、セブ・カカウサ 新海辺、スエズ、地図 コッテルダム、底径 ロッテルダム、底径

(1825年) 島菜店

一改第号館を見つ、ある江原道で「では多年に宜り消化機能たる製糸「番川」 重額会能等二位を占める「株に春川を中心とする中部豊地管

認可申請の段取り

江原道進出

りたがら退内観視にたいーケ州一番の設置を受望して來たがこの

を想更して、更に工費丁嘉園を対

近では帝重江原の健康な襲送を 港晉主試鹼

自来主きにした。 地に大きる歌の、野者、試験、第一等外西国上京里の京奈殿道工事は「イトでは成した岩の成片が約三十、根を字つて室内に観察中の字の子

[春门] 廿九月

後四時ころ加平一(京城上本片計畫員)でダイナマ」来でい、の民が華英子方に落下、屋

マイトで飛んな破岩

時ころ同野刑事隊は府内黄金町一

題の擦弦線線を砂取したのを手始道進州某権未所に侵入して一千色

めに開城、蛇浜等各地を眠つて大

楽述行に際し囲骨に事業の遂行を 【春川】邑では将來市街地計費部

地評價委員會を相綴し近く左の

から来年四月までにし間通せし

泰川間線道は諸板の状

つく要夜工を急いでふる、即ち

【祭川】 目下全力を発げて工事中 | 工のはずで大磯に挽て豫定通りに | 行したが、 骨一目首十三人の受験 | ある

連行するものとみられてある、な一者中六十七名の合格を要表した、

なに右は聴急の施設で罠に家畜の

忠州の消防演習

に同逆十二重は經近界稀有の難工

題々として容易に工事が追すない。国的に普及特徴する方針のやうで題所で最初トソネルにしてみたが、一般解者進を聞るためから辞末は全

四的に著文寺段する方面のやらの東条は全 人特から本町小県校々庭で恒例のの時代を登る回るためから原本は全 人特から本町小県校々庭で恒例の

熟館 【上川】 二日から

死傷者四名を出す

いも工事は知る順調に進い妹に全

市る岩壁を迂闊、これに採光窓を

いで計扱を列更して今度は沿岸に

とくなり、春川市街町豊本芸 んがため土地の評價と物件移

認識し更に共称権暴に息つく間 大的機械網報を認取してるた一関

己活動を聞い卅一日午前六時。で被慰頼に整千四に上る模様

概起となって

るたが、

計日午後三一陰のあるを

命以に去る十七日黄疸

作を重大説しその後個人檄器に

人樹界に、日元能工器の職工として強いた器は時局帯、最重取調べ中であるが、以上三名

春川市街地計畫

京春鐵道工事捗る

最難工事の第十工區も豫定通り進み

來春四月までには開通か

T七名中左の十一名が合格した

担初等收員並三種試験上受驗者

作】去る日立日から五日間に

★に左の三號を加ふ の原語 第二條中第二十六號の

廿七道路溝渠、<footnote>城界線明示]

近距な諸軍で

施行された江原

野野山町二十六巻であった

施設人員傳致二百十二名。

野戦等の経費を形に分解部取した。七九白成仁「o)二人を逮捕、目下「柔の確認に密與しこうとの意気込

|開坡|| 表も廿四日午前二時ころ | 四十分開城縣為列車で京城方面へ 表はないが、廿萬回の斉本を

高飛びせんとする推問事権制邑晋 | は二百釜位とし、ゆく/ い五十

機械の銅體専門の泥的お繩

一类前

職工崩れの三人組

南山町料型主氏所有のコムエ

令を以つて可能職に関する非項を 進安員会こと連続を取って配済を審を職職すべくま月廿七日附近領 通知日で地方に返した方法を際していると、連続を取って配済を

関では祖民に對し接種的に野

記者を履行し非常時間家財政

極的の貯蓄勵行は

月本常小學後感で貯職、院火融智なたには世一日年後一時半からは確

日前分開員各種保護列席の下に開 学校講堂で店舗装置本部員並に東

国を奪って遠にました々と仇つほ

では情一日午前九時から邑寶を開

甲秀一宗(或南如軍賞) ヘルトで報道の結果左の如く入賞した 級互頭、乙級六頭、配鍊鹿技七頭

春川昌會 (春川邑

に同里四四ノ二宋仲良の妾金信思 **廿九旦午郎三時ごろ船橋署司法選**

「小海」 おまさんの紙替一条

は彼氏が最近治たくなり生活費 も輪々に果れないので彼氏の同 を上ぼって思すらげたものである。 を上ばって思すらげたものである。

校舎は三十日午後一時から盤瓶山

お妾の狂言 微智に活動する参加者 を低感し防空作業の貨物を焦頼し全く選ぶのでサテはと不報を抱きこのよくの活動をなっ。 防空退職 なく調け込んで来た時の様子とは

、院祖殿、交通整理座等は實職 遊が侵入したらしい形脈は少し

家屋に焼み湯を投下、また湯

能破別をも投下して防火

に各単校生徒。一般府民参加、

出來するこぎ込んでるた可名では *又か~と直ちに非常線を張る

賦課職決定▲同邑月別稅附加稅 十三年度消稅月別稅賦課等級及

朴鳳鎭氏張宴 [開城]

有所回复借题顺表 有明和十三年三月卅一日) 有明和十三年三月卅一日)

明樓に有土百餘名を招待して軽大 要敬にある朴原頗氏は先般中極能 南鐵背頭。京地道鍋、開城府職の 水野が主任。石田少貴指揮のも一頃晩醸した帰族群件が未たに解決

|有低程に二日間の防空調料含を||同女を取調べたところ、偽りの申告

子した【質異』防毒(上) 防火

と判明そのまゝせ九日間の指留盛

軍用犬訓練競技

。)が・只今脳盗が侵入して四百

い譲名のまと続け込んで来て、光一個、簡個是長司各の下に左記部項一

表明は開始度で、夜間は清月

西痢分 關長、阿郎大佐臨席、

勞働時間を一時間延長して

得た賃銀は貯金やら代金

昨十二年八月投現されて近に 「既々地方面でまたらすく中です」 健康、柴川各野発導技を勝任、「兩、面」協議員、會「「宋町」 就任に南端してるが平昌を振り「高郷」(郷・辺コ吹いた郷である)

保安課長となった警察界での『十二年八月校暦されて近に

からそれんく電路機具食を開催時から、動山電では出日年前十時本の動山電では出日年前十時本の動山電では出日年前十時本の動山電では去る廿八日午前十

兩面協議員會 [水匠]

一々選集してもなものでこれと知つ

後現在の種情期限に棒じ地方を確 「藝術学」であこがれ昨年八月無野

※出し京城
成就に舞び込みでの

在心下環府既上里八二丁七億英子

一巡手の朝鮮を居住は朝職

こし、方面の家庭に生れなが

か残る命らして下さいと春川紀とれれてい直もに展覧を添へど

一官公吏か 忠北に貯善獎勵委員會生る

漸次郡部にも奨勵

七川一野孫男在京別野八分二十

好の銀曜日和に惠されてい。物所は、異合及が焦瞭食を開催し日平前八時から降い子照い十越、は乗る廿七日本年度第一人「水同」報度都機仁会

配湯で開催釜加人員は二酸仁川雲 百十六點、平均十點の成器で 加る磁火を極め非常時難禁官 「百廿六名に來致約五十名を

系同短信

魚芥草三十四箇を市内に配布 茂彩 | 回指導委

英しい衝景に1版も窓路してつる間東角の開墾を起し易い折橋この 防戦金をするとに申合せて発表合 銀は貯金に充てると、し一部は図 遠と聞つて雰囲時間の一時間延長 面奉日川出本組七木田張所主在登 腰川巡防作系工事中の堀州都條里 谷川明治氏(土)は時局に建立人夫 翻時局計場の美風を描てたが多名 を既行し時間返長によつて得た質 【汝山】人夫二百餘名を使役し

課長返り咲き佐藤江原保安

江原道で社會事業擔任者打合せ

配料連の上勇退した、なほ民は北のた江原道保安駅長佐藤原氏は鬱 部六郡での首都総原邑世就任に内 【茶川】かれて難感を傷へられて 念よ鐵原邑長に

者長時代の国際な行政手腕が再び一 勞資の需給調節 事界の明暗兩極端

氏は北部六郡での首都線原邑長 | 任着打合せ會を開催、初日に寮飯 温等、これに伴ふ等動者の飢餓と 日に亘り近世戦量で近此管研業権 行を期するため來る廿七、八の雨 いふ明暗陶徳端を与まく頭部し労 なつた、宮倉青山道郡増任黄江廟 | 郡氏名不祥("一の四名に飛ばを計 係重要事項の打合をを行ふこと、 黄海道平山郡里和良("心塵北水川者観保、二日目は徳民及び軍事閣("人及べ工夫報川生化懐大様"と) 保者にが朝鮮電力。京城土木協会」はせた、彼武者に何れ、道立春川 開課からも関係官が臨席する筈で 餘名を網絡し特に本母毗管、競山 職員。並に並內事務現場主任等官

【規律】色で、線、幕集中であつ 城津邑マ 春川邑手敷料 徵收規定以正

が廃北生れの男に遂に冊日午後化 野院に送り込い贈書が焼を施

長箭港修築

盛大に起工式舉行

色単し前述作を左の通り競麦し

ミンAD の綜合劑

施行の信告示された修川邑市院 る邑の総費も相合多項による。 に上るとを譲越されてこれに要 **计量贩域、同债路及四间土地**等 四〇五號。「以て決定四月一日か る路級敷明示の申請も根所を 整理地域に對し建築での他必要

を設取することしたり卅一日の島 做ひ右必要申請に對しては手数 公一島では今度作川島手監社

工事は療完の通り準備進捗しず九 卑奉奴があつて地域祭を終り続い作業株式会的成工の長前編書施業 社長以下関係者、参列者一可の玉 「選のもとに設立された江原班組織」後、第主の規則率上につぎ近知事「選手里」本年二月江原道常局支、元有志官名条列、魏の通り創命の

西接頭等数等、道内官民公職者地した「宮庭は建石沈下の祭」 本事教官、江原並から知事代理量はで現式合開催二時盛合律に設置する。江原並から知事代理量はで現式合開催二時盛合律に設置

の心配もなく、十分の効果を學げる **ゐる。だからネオス・エーだけてヨ** 御作用を盛んにして、 結核毒や幽毒を體外に運び出し、 常するヨードと、肝油の薬効的成分 新しい活力をつけ、榮養を高めて抵 液を帯化して血行を整へる。新陳代 るのである。即ち ードとビタミンの綜合効果を發揮す てあるビタミンADを懸富に含んで ことが出來るのである。 **加力を強化するのである。而も一回** 粒づいの僅かの量で、 全身の細胞に

潜伏徽毒・遺傳徽毒・動脈 カタル・神經衰弱・ 肺結核・肋膜炎・氣管支 榮養不良。 腺病質。 胎貧毒血

咸興盤龍山で催す ード・ハウス・ヨシノ石丸線五 原兵衛▲南照一席(元年賞)選 次郎▲南照一席(元年賞)選四 アオン・ハウス・ヨシノ山邊際 【番川】上の日本川を開て目で 級] 席(京城日韓賞盃) クニー 早く家に歸れ 下孝娘に親心

48

中帯症狀を起させるのであるが、この中帯症狀が頭痛や不眠過中に起る頻気である。殊に結核や鬱毒等の毒素は體の中に であるが、荣養障害にも併發し、主に潜伏してゐる 出來るのである。 我別、腺病體質等も自然と治り、 全身の細胞の活力を強くしてゆけば、體質は改善さ る。だから、潜伏してゐる結核毒や微毒を體の外に運び出し 衰弱と肺結核は離すべからざる凶果關係を有してお る學者は神經衰弱を肺結核の玄關口に例へてゐる。 や神經衰弱、又は虚弱體質の原因をなしてゐるのである。 神經衰弱である。神經衰弱は脳神經の過勞より起る 青年から出年にかけて最も多くの人々を悩ます病 神經衰弱は結核毒の中毒作用で起る場合が一番多い 肺結核も未然に る病氣の經過 いのて、或 氣の一つ 事實神經 めぐことが いるのであ いれ、神經

榮養を高める! 病毒を取り除き ネオス・エーは大量の

加削 敝

ネオス・エーは昆布の干五百倍に相 ヨードと豊富なるビタ

3 モネオ 飲み易い Ł ス

四円三十銭

全州地方法院

法人登記公告

常に選元するのでありますから、下痢も便秘も一剤を以て正常便に復し、連

あります。即ちわかもとは、脇粘膜の質質細胞を强化して衰へたる機能を正

用していよく、強膓の効果を増大するのであります。

・神経衰弱の治療から進んで早老、老衰の豫防をも闘

清掃許りでなく、血液の浄化、皮膚の美化、不眠や その害悪を除くことが出来ますので、単に脇内の

ることが出来ます。

す。類似品は活性弱き賃急泡少し、

沈澱を生す。又わかもとの少量を試験管に取り、過酸化 試験管内で水に溶かし一滴の沃度丁幾をたらせば紫色の 褐色を呈す。灰白色を呈するは澱粉等を混入する物で、 純正へーフェ菌劑は、獨逸樂局方に示す如く鮮麗なる黃

水素水を注げば、盛んに氣泡を涌出して活性の強きを示

有資料菌を騙逐し、嚴幹を制し、毒素を吸着して、

わかもとは弱力なる活性微生物剤であつて、勝内の エコフ、シュミット氏等の唱道した所でありますが

の簡易なる

鑑別

法

硬養し、 脳神經を犯し、 短命の因をなす事は、メチ

脚内には無数の細菌が棲息し、塵々異常醱酵を起し

膓內の殺菌淨化

て毒素を發生し、血液、皮膚を汚染し、動脈や肝臓を

對症藥と 併用してその効果を加重し、制作用を軽減し得るといる特色が

の部位や症候に拘らず治療し得る許りでなく、

が少くないのであります。然るに複合へーフェ菌剤わかもとによれば、際得

つて下痢と便秘の如く全く相反する症候で連絡し、或以は連續して起ること て治療せんとすれば、其處置は多岐に亘る許りでなく、對症薬の副作用によ 碍の性質、程度、細菌の有無等によつで細別されますから、頻症薬剤によつ を高め

衰弱を恢復する

復する。

腸の實質を强め、

榮養の吸收

常習便秘も慢性下痢もひとしく快便に

勝疾患は 下痢及び便秘の二大症候で區別され、更に疾患の起る部位、除

(st)

根を除くといふ一點に歸着 胃擴張。胃潰瘍。胃弱。消化不良等は 一病根から發生。 治療法も結局、

多くがピタミンBの缺乏より起る事も一般に知られてをります。 一種なるヒスチャンの缺乏を補つて胃潰瘍の治療に成功し、また消化障碍の 食によつて慢性胃療服を治癒し得と云ひ、アロン、ワイズ兩氏はアミノ酸の 不均衡より起る事は病理學の定説であります。マツカリツン氏は、完全祭養 慢性胃腸病 が食餌の不適當、言い換へれば人體に攝取する紫養の偏顧。 館刺わかもとは、我々の日常食師中に不足し易き茶養成

胃腸壁質質の細胞をも賦活強化して、慢性胃腸病の病根を除く點に於て、從 分を綜合的に含有するのみならず、消化械能の強化に特殊の効果あるエンチ 來の胃腸薬に百少を先んするものであります。 - 4、ホルモン性動質をも含有して、體内榮養の均衡を保持すると同時に、

Ø

質を養成することが出来るのであります。 進んで<equation-block>場なる肉體組織を張靱にし、抵抗力ある體 慢性衰弱病恢復の効果は著しいものがある許りでな 防骸グリコーゲン及びカルシウム、鐵、カリウム等 ますが、その主なる物は、リデン、ヒスチャン、 ミンB複合體に到つては生物界隨一の吸着量を誇り の無機物、ピタミンABDE等であつて、特にピタ クレイン等のアミノ酸、レシチン、チスチン等の脂 わかもとの含有する榮養素は、十數種の多さを算し く、その綜合効果たる細胞原形質賦活作用により、



鐵劑や動物匠 ーフェ劑の投與で恢復 際も効かぬ惡性貧血も 特に結核

性貧血に効果

は、ピタミンB。の投與が貧血の恢復に落しい効果がある事を帳見しま 貧血に有効なわけではありません。此に對し最近、ザイデンヘルム氏等 したが、氏等はヘーフェ菌劑をピタミンB』の給源として用ゐました。 てが、豪性貧血に對して鐵劑は殆ど効果なく、また動物肝臓もすべての 貧血に鐵劑 或ひは動物肝臓を投與することは從來の常識でありま 吉田氏は先にわかもとの投與が増血に著数ある事を動

胃腸性、熱性等の悪性貧血に對 を吉田氏は白血球の増加が著し 氏の場合には特に血小板の増加 を敬惮することがわかります。 して、従来の薬剤の及ばの効果 質によってわかもとが結核性、 いと報告されました。此等の事 物實驗によつて實證し、前記ザ

只今全國薬局にてわ

かもと(一圓六十銭) 個お買上げ毎に

二等、 等 寫眞機 ダは 電氣時計 高 級 自 車



特賣中でありま 室前の大景品付 まで必ず當選す

> 低價強 錢數小僅日一

钱十六酮一各 錠〇〇三酮錠。瓦〇九末粉

銘仙夜具地等

下 二 十

會の見育と養養領本ともかの註

園に引上げ

してあることからピントを供着体に見能等に実験等を検討に線 「この質整は表布から初けは四十一度以上熱してもボン」温度を測定したよう方、単生に効 脚してある、同数域は語る ののと死亡するが、真宗才出して、聖師仏を仰頭に撒べて帽子の中の「ちを皇情運動を起しての蓋見を不死を入れて四十一度きで熱を再、城に病を非、朝年い男生、生涯を「なここを衰見、精妙前秋の幽釈か

いも要得情追動を起しての変現を

中央中學校

州周年記念日式

民情院裏の小路を本町署員が、今日まで居田も落主も現れない。

結ぶ戦線と銃後

謝恩の保險金

お見した黒大陸栗面原生や水星状況に星速が使用がのき近め柳緑、県保食局に呼びかけ、蛇の巣生の薬品の運動を建てこになった領球によりが見能を引め火場の事生はでこの悪帽を挟縛で液せてゐる、よとした質量からこの部の変力に認ってきるのであることを観いめまれて深らべきものであることをのに似いめまに多様的を敬せり官吏を越て日光の直別の下で黒の羅参順で重を章でことが身體にしてないのは常識でも分ることなのに思いめまに多様的を敬せり官吏を越て日光の直別の下で黒の羅参順で重を章でことが身體にしてないのは常識でも分

大水島教授の研

顕で名譽の難死を遂げた京級旭町

月十八日山西省水海縣南基村の戦

○○部隊に從軍北安に韓駿去る三

故由井中尉告別式

溶し主のない 日本刀

夏の羅紗帽は斷然非衛生的だ

簡易保険最高金額を

民間鳥人の榮譽

を中心に實施された鍼後報酬職調本府では法る四月十九日の天長節 規約貯金增加

保管料を引下げ

國債の換金を防止

四男保険金額引上問題に果然普通「に順應して丁月」日から七百圓に「斎統の中尾、大里、石川、岡本の「初貯金の複額を鑑行せしめた積積 引上げ實施する豫定である。 有に 四氏は流洲にあるので同配東京駐 四月分に於て楕内綱使局取扱びの 般保険業者への影響を考慮

・皮」は、ようださい。 者との関係を教施して研究の枝果 「七宮側なら一般保護薬者に及 恋様の側がかあって同丁時式を開 サ七周五十段であったものが、五では4角機後者が引換ぎ、 一投管機等 「七宮側なら一般保護薬者に及 恋様の側がかあって同丁時式を開 サ七周五十段であったものが、五です。即職代者が引換ぎ、一般では、影様に深 「七宮側なら一般保護薬者に及 恋様の側がかあって同丁時式を開 サ七周五十段であったものが、五では「影響は大したがは、内地 ついて山田歌信局長は踏る 在の永淵三郎氏が代理で受け水井 もの口敷す百六十六日金観千五百の成行を消聴されてみたが、内地 ついて山田歌信局長は踏る 山西戦線名誉の職協病兵下士官以 日龍山到着

園四十五到の骨となってふるが、 二、三、四日整行の本所官報公告に比し三官六十一口、八百丘十五 に行っこと、なったが詳細に六月

-二次試驗受驗者へ

間そのキーサンはどこでも呼ば全料理屋が一丸となつて一 が越々と検送される有様だ、十五程等さんも困れば料理屋も困る事

双葉以

下三横綱

十二日から京城で大相撲

を映道するために保存利金の。過ぎあるが、繁煌局所で資田、つてをれば現金に換へやすいの事型環境及貯蓄成務の消化、が一関及一千四季に一関八十、に拍車をかけると共に手に持めず型環境及貯蓄成務の消化、が一関及一千四季に一関八十、に拍車をかけると共に手に持て変用しを前に事塾國館の一銭、十五四級半線、五十度第一次つた、その結果は協能消費を改革には発展の変用しておれば現金に換へやすい。

は、一般では、一枚に対元は、一般では、一枚に対したが製肉では、一枚に付十一枚に付十一枚に付十一枚に付十一枚に付十一枚に付十一枚に対したが、

として提供されてゐる 優等の換金防止策ともなつて

すから御望みの方は三銭の書とた遺域として自筆の説

世元献上り四十歳近中卒以上、要 世元献上の四十歳近十卒以上、要 長職人二名、京 憲元協の内地人を 京城府太平通二丁目七十三晋地 棟改の上契川す

切手二枚封入の上左記 モ

歐成器商業

卒業生に告ぐ!

になれば分與されます

| 世校同窓舎前設近 | 開催表度存換 | 世校同窓舎前設近 | 開催表度存換 | 対数子度出於可要と同一工程 | 京城市並全面三丁且三四 | 東地 | 朝日第上文別段地を出り | 朝日第上文別段地を出り

ソプラン製藥所宛お申込

般の資薬と混同されるこ
独藤本博士はこの薬が一

如く白く美しくなります

◎所員募集 行別案內

「富士」夏の増刊

常士は近韓時代の勢で聴眠

代金引換金模領

京城女子響詞窓會聯盟生る

學
高全
鮮
へ
呼
い
か
く

瀬行家が悉く集まつでゐる。刊も大部りだ。 張物が標題さ |目前自て足が具部に脱っ二)圧指令||虫の息となつてある六十歳位の朝・平南勢資那大興面社會里二二社會||京城昌信町六四七番地路上で国れ 十二月十八日から本年一月廿八日 | 別後したが午後四時ごろの 里郵便所事務員趙安豫(三)は昨年

蘇铁G成分

できたがあ

邊

亰 城

郊

水泳シーズン迫る

る美しい人魚でいばいです。 (第四

海絲萬引常習 三丁



乐日案內

本 花柳病 専門 ※

櫻井町アー六六 医学 須迈奎二郎

歌目指して歌者した日演派である。 酸かた 中に帰真を襲って不正頓車をうる。 酸かた即して自女の勇士を心から、中に帰真を提づて不正頓車をうる。 酸かた 者や職を根據に旅客の領中を明か



四流血中風に 人助けのため良欒敗日分

無代で差上げます







U X Co

工商 场所三版通三三五 廣 都中里三上下侧所附入是海岸水及大岛四半化柱第三级

タモッ 給 即将立替文は暗替に サイ ビスト素集 中央役職様式舎社 中央役職様の

あるところ

フンドー

愈

家具、神話用格子生き番 京城府被金町二丁目四十八

金字俊、老梁 此字網、馬丁

戦した 勇士の母へ贈る

生ける屍歸

淪落の淵に沈み、

名響の職外を遂げた青田惣士 朝鮮館島生命保設に加入を動き山口縣選井田身----は出記の

でとめさんは主人と相談これは私

すべきではなく勇士の後を守つて、戦友から戦死の事をこれらいたと皆でとめて入ば主人と神話これは和 は早遠この金を献簿の母に渡ち、 ら保証加入の通帳が届けられたのとめさんに渡されたが主人選手氏 その後街金を貸けてる。含率られた手概を添へ勇士造族を一枚復してゐたので、

鲜總督府普通式驗委員長 山澤和三郎 三年六月一日、四日朝鮮總督府管報後照 施行ス試験顕書へ七月三十一日途三本府ニ到達スルヤウ寿田『山戸』出一計「殿」一州、平道、成興ノ春川三於子香漁試『山戸』出「飲」「本年八月十八日ヨリ京水、火北、全

「「「「「「「「「」」」」」」と言う項に照らし四百周「受京人」「「「「「「「」」」」「「「」」」「「「」」「「「」」」「「「」」」「「」」」「「「」」」「「」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」 「 「「」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「」」「」」」「」」「」」「」」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」 し、三面 ミキナまする難となって | 一先つ本町郷で保護の上記載させ、 其の御帆を記念して二日午後三時頃本町建 | 株の田県市県地位の荷部に関す を口ばしり入々の機をさいった。 (***)は1日が丁度遺暦に富るので | 技術同國内を成績(権の制に助み のある事も感じ取らしくあらぬ事 | 泉境本町二ノ五九安原照三郎さん | 観楽劇明和課小川方で斡縮を働き | 雑泉変見にコートー

11の御用は 命 東洋陶器會配特的店供用店 即

一社 日本ビクター寄せ辞令社 ・ はいいない。 というのでは、 ・ はいいいでは、 ・ はいいでは、 ・ はいいではいでは、 ・ はいいでは、 ・ はいでは、 ・ はいでは、 ・ はいでは、

好景氣につけ上つた 流妓生を繞

イタミンCと一種の植物 學的に研究して貴重なが 昔から知られた蘇鐵を科 世から知られた蘇鐵を科 モンブラン錠

通採用す京城府黄金打三ノ三である新聞の土を駐在所長として毎時、満年成果大田大田を開発に記録

れた
ところが出征後数日総つて陣中することに決定し次の通り告示さいたのであつた

靴泥棒 一日午前五時十分

色白くな

族本順付土創製

の問題から料理屋側と券番ゴテる

きは成生の管薬停止に闘すること

で人服の

増進し11三ケ月で別人の全然副作用がなく健康をして賞用されてゐます。

ス。ニキビ等の内服薬と ンは色鰮、シミ、リバカ

博士の色素解薬モンプラ

ないので、お彼は一人で東京中を 闘け題つた。心質りと云ふ心間り

まるつたんですか

さらでいさいますが、一の官へ 一の宮たらは知り合の者がいる

大・五五(東) カレントト

10・10 國語階座

環第士 ÷ のの(城)少年講談・空の肉

井山湖

夜の

一軒短らず勘ねて見たが、元 委細面談の上』と扱いてあ

「判ったらしいよ、姉さんのあど 何成なんでございませる

9 放 部

選作)の少年と馬の東山手を子 八・五〇(東)物語(放送支護入 三統 萩原 正吟 「三統 萩原 正吟 「

八三百(大) 叛馬曲

例れ」(下) 果島 映玄

・四〇(東) 講演 航研機を事

正年了

(東)時報についき(釜)長 金

三日

八・川〇(京)地唄々性の際々観れ」(下) 果島 狭

加六・〇〇(東)ラデオ砂松 (大)小型生の蛙間「 端午節句風景 李聖 高鳳

の常識(1)我が國民の栄養関の常養関 日用品債权 衛生メモ - 110 (東) 朝の野欒 (レコ・20 (東) 朝の修欒 - 01 (東) 朝の修欒 - 02 (東) 時報 **検査話刷「小さな馬車」(Ⅰ・○○(東)幼兒の時間** 平壌公設グラウンドより中継

際軍々醫中將

一・一五(城)家庭の時間(朝鮮「ソコ)の上で燕の郷に飛び変ふ様」

持つてゐてくれた。
「持つてゐてくれた。」
「持つてゐてくれた。」 お選出。もう目の色も血走つてあ

体表の・三〇 ニュース・鮮魚即 ・一様の・三〇 ニュース・鮮魚即

嘉 平氏 「注」の手段は絶對に成立せぬ手

はあるが、斯く打つ必要は認めら ちノ十三二 に打つべきで、先手で 黒「

るノ七」の突

響が開始される ◆無五七は『とノ十三』成は「

赤

岩

を願望されて居る中の一人で、

◆これに対して自が五八とウケ

下方にヒピキを興へて、

はれた器である。さらして特局自 動は、黒五九のノソキとなつて現 安眠り即に六二に願じて居る方が

下黒六一までの交換を了して、然 にウケるが良いか、特义白五八以 約官すれば、白五八で單に大二 (念 考 圓)

一中の黒を取られて成立しない此場

『大丈夫ですってば……』

日缺陷を補つたが

黑下方の白に攻勢を取る 七段

瀬越

憲

さう云つてるところへ、飜便配

大然に何れのものとも特に離さ

得力のは遺憾である 少なからず形勢を担じた窓なき

◇昨日は自五四を指摘し「ねノ

ればきつと疑る、疑らなければ ないからお止しなさい、待つて

にけへは、ふどころを知らせる

につた。又もやアテのない探しも

作用て行からとするのを

斯うなると、お田は無智で閩南

『お前のやうに、冷淡な人に相ば

たいよ、戦つてみておくれ、

明男も終ひには眺が立つた。

一番付いてはあられないんだよ。

ゆんて、馬鹿な事は云へないよ

落付いて持つてゐらつしやい

白「ろ」無「はで逃げられると

巻表題。白六に次いで無「い」

よ

一脳めらる

[134]

力でこさいますか

長さんに申出さした。

あすのきいもの 前の解下に繋がれた背景の馬に降 高鳴つてるました。切ちゃんとこ 非常時の感覚と黙認が少年の時に すがに彼はまだ無邪気な少年です 人で面質を観けるのです。だがさ 風呂の 踊りに、近肢の 動物

科學の日本 (三) 電氣の群及 大阪科學関研究 大阪科学協議 八·00 (東) 浪花師《召集 るのでした。 空の肉彈勇士

るのである、天下の名際牡丹盛の には酸に勿論の事外國人達も目を 三時頃上海の上空へ敵の非常に便

大いきをして居る時、サット消空 『ソン空襲た、重場た』と地上で 一乗って居られるのは海北

この原すしい空中戦心お話を数

都市生活と託兒所婦人の時間(読

村であれば東京教会の自然の題化ってある。此の今らな経験とを述べるか、都市におり日本まで、是が実理かな職とを述べるが、都市におり日本まで、というな経験とを述べるか、都市におり日本まで、自己など、 都市生活と記見所 命が悪い、脳門の登録解析の四十二十二と記見所 の大郎 いっかんが引つり称や歌声歌り上は大名美ったものがある。 と 神楽がある、小説の色に悪い歌 れいに大名美ったものがある。 と 神楽がある、小説の色に悪い歌 れいしょ はほんとうしょう

困つて居りませんか

同婦人が司主人の古い病器を知ら 消

します、鬼に角コデレた病者に公師者に公師者に公師者に公師

あつて強縮者に重覆されてゐる、納所に思い置は登場の蒙と概なり看で服用する庇護跡既挺で 優びき人知れず困難さる。方が極めて多い、 質が成に関まされ色々な解釈に苦しめられ治酔さけれてゐるが學覧を感であります。かくる歌 流洲、支那其他外派の旅院は質が思いと一般に 病者には是非性逆域法を推験したい 外來淋菌は質が惡い 洲

が脳の嫉叫がとまられ、脳は出な一見てもよく含く雫がわかります。一日とと奏をのみ、治解をして見た一伝される方が微眼あります、是を

服用せられよ、必ず魅った態効に

| 一般ないから何安心を分よ、時にせいかと絶よ人もあるが、低

を利用せし煎であるから、感くな

婦人の淋毒症

渴 9 方

て開闢を治飲せわばなりません。

地特 約

山崎仁壽堂

藤田 **大黑南海堂** 藥

森田 藥店

慢性には此樂がよい

唇からは冗歌が口笛となつて読出 を想つては春みたい米も布約して 歌歌の戻するのです。戦地の男士 朝鮮、臺灣は勿論遠く流洲、北支、中支に迄好評を博するに至り ました。此樂は他の淋藥とは全く異つた樂であつて一日に二回服 知らぬ人と疑ふ人に

南支上海方面の戦闘で我が空軍 邑井操 |配慮が幸と不幸の別れ道です。| |迄の葉と全然達よ所に御注意御研究あれ、人生は樂しく明かに、

其他惡性にて本藥を知らね人は是非服用下さい、また藥の废告か 判である、慢性淋菌が深部の肉迄侵入し何時迄も淋糸の出る人、

と信用せず疑つて後悔する勿れ、資らんが爲に云ふにあらず、今

疾

「小鑢」になるのです。 つて、女 に は も う肉眼で分る

なつてゐるのです。

この様に「ちりめん鉄」の様に

用すれば(内夜の一回は酒で服用)後二日間は服用せんでよい発許

方法になつて居ります、それで効力が速く慢性に最もよいので評

東海祥太郎 み ち 奴 梳木 繁夫

新線に偲ぎれた平壌公段グラウン ドで発冠を競ぶ若き朝鮮男女の姿 れた大型のメグラス電源影技が三

井

徹ずるのである。立上りは先づ双

の腕布に相手が手をかけて角力を

るのである、そして相手をつり或

ツ子として育ちました。 小學校を

公にやられます。故郷を、朝兄弟 卒業するとすぐ大阪の紙削屋へ奉

平均七五)同點酸ではあるが伊政 八〇平均八五)鈴木一段(六〇〇 右入賞者の得點数は、坂田三段 因に伊護本初段は呼者の変第子

献 整 登 記 公 告

法人登記公告

九州郵射線出張所

全州地方法院

法人登記公告

織楊口出張所

十城百營拾入同成拾卷數三鹽東 百營拾受日現在田安總日數**成于** 月營拾登日現在田安總日數**成于** 川金融組合(鄭更)昭和拾幾年 法人登記公告。

いま出る

は、人、登記に公告 谷山金融組合(製造)明和企製 を打象を設しました。 明和企製 を対象を対しました。 他の出鉄地 製造・製造の土・買車 発・の出鉄地 製造・製造の土・買車 発・して で開始に登中四月、本日登記 で開始に登中四月、本日登記 赤縣介川出張所和紫華門或養長郎

つと便つた様な、うす皮をかぶ

一つた感じになりません?

もし、そんなパニシングだつ

の館がなくなつてきません?

でみると、無数のひじや荒れで娩のなくなつたヒフを駆破銃

思ひもよらない事ですが、

るかといふと

なぜ、そんなバニシングもあ

クリームは元々、水と油とを

切が後辺 初端、流域主要原 二於 テ修軍連 次連内地近行 - 日清連絡毎日動

かので、その方法で作つたからうど洗濯の時分るやうに、石畝 まぜて作るので、それにはちよ

なのです。

くないのはど承知でせう。

このクレームには、黒い石鹼 石輪がヒフにもお化粧にもよ

粉と同様パニンングの世界的たれるオリーブで作つたのですそして油の中で世界最高とい

る感じもないのです。 とに成功したのです。分リスリンを使はないで作るこ

これ迄の半分量で使つて下さい。遠ふからやわらかくて變かもしれません。これ迄のパニシングと原料も變法もまるで

獲明といつていょと思ふ。

一、釜山田城 题 水 行(急行)新日 字形八時 安十二時 中華八時 朝鲜汽船出帆廣告

り●駄旧四種切手●東京端布本村町伊東化學所先形はせば、白粉が濃くついて、永くもつ。・侠も)B荒れ性の方や窓い時のバニシング

商業登記公告 五日株主地竹ノ決議会社(解放)昭和拾

周山 行念行為日中級に 本油 行念指導部日中級に 取山 行念行月中田年前九時 配は 行為行月中田年前九時 副総合数 火田 十二日 総行技 日分 八日 十二日 を行 (毎日) 年年九日 十二十四日 本行 (毎日) 年年九日 本日 十二日 本日 十

金。山上出。(V) 海山东河土 海 海山东河土 海 九州郵船出帆廣告

金堤出張所 登記公告

全州地方法院